

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和04年11月10日

計画の名称	吉野ヶ里町における防災・安全の下水道事業計画（防災・安全）											
計画の期間	平成28年度～令和02年度（5年間）										重点配分対象の該当	
交付対象	吉野ヶ里町											
計画の目標	下水道施設の快適な整備更新を行うことで、公共用水域の保全を図りながら、住民に良好かつ持続的なサービスを提供し、快適な暮らしを実現する。											
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	364	A	364	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0 %

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 平成27年末	中間目標値 平成30年末	最終目標値 平成32年末
1	下水道施設におけるストックマネジメント計画策定策定率 0.0%（H28）から100%（H32）に増加させる。 下水道施設（汚水・処理場）におけるストックマネジメント計画策定率 ストックマネジメント計画策定済の数（計画） / ストックマネジメント計画を策定すべき数（計画）	0%	100%	100%
2	下水道ストックマネジメント計画に基づく処理場の更新対策率を 0.0%（H28）から100%（H32）に増加させる。 処理場施設の更新及びストックマネジメント対策実施率 更新及びストックマネジメント対策済の機器（機） / 更新及びストックマネジメント対策すべき機器（機）	0%	20%	100%
3	処理場の耐震診断実施率 0.0%（H28）から100%（H30）に増加させる。 処理場の耐震診断の実施率 耐震診断実施済みの処理場の施設数（箇所） / 耐震診断すべき処理場の施設数（箇所）	0%	100%	100%
4	処理場の耐震化の実施率 0.0%（H28）から33%（H32）に増加させる。 処理場の耐震化の実施率 耐震化済みの処理場の施設数（箇所） / 耐震化すべき処理場の施設数（箇所）	0%	0%	33%
5	腐食の恐れがある管路施設の点検調査（48箇所）の実施率 0.0%（H28）から100%（H31）に増加させる。 腐食の恐れがある管路施設の点検調査実施率 点検調査済みの処理場の施設数（箇所） / 点検調査すべき処理場の施設数（箇所）	0%	0%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H28	H29	H30	H31	R02			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	吉野ヶ里町	直接	吉野ヶ里町	終末処理場	改築	吉野ヶ里町浄化センター改築	長寿命化計画策定(調査)	吉野ヶ里町						15	-	
	A07-002	下水道	一般	吉野ヶ里町	直接	吉野ヶ里町	終末処理場	改築	吉野ヶ里町浄化センター改築(改築・更新)	機械、電気設備	吉野ヶ里町						165	-	
	A07-003	下水道	一般	吉野ヶ里町	直接	吉野ヶ里町	終末処理場	改築	吉野ヶ里町ストックマネジメント計画策定	ストックマネジメント計画策定	吉野ヶ里町						54	-	
	A07-004	下水道	一般	吉野ヶ里町	直接	吉野ヶ里町	終末処理場	改築	吉野ヶ里町浄化センター耐震診断	耐震診断	吉野ヶ里町						17	-	
	A07-005	下水道	一般	吉野ヶ里町	直接	吉野ヶ里町	終末処理場	改築	吉野ヶ里町浄化センター耐震化	管理棟等3件の施設の耐震化改築	吉野ヶ里町						108	-	
	A07-006	下水道	一般	吉野ヶ里町	直接	吉野ヶ里町	-	改築	SM計画に基づく管路施設の点検・調査等	管路施設の点検・調査等	吉野ヶ里町						5	-	
												小計						364	

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H28	H29	H30	H31	R02			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
											合計						364		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 吉野ヶ里町建設事業課にて実施	事後評価の実施時期 令和4年3月
	公表の方法 事後評価後ホームページにて公表する
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	老朽化対策や耐震対策を進めることで下水道事業の持続性を高めつつ、サービスの向上に寄与した。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
次期社会資本総合整備計画においても引き続き、下水施設の老朽化・耐震・耐水対策を行うことにより、公共用水域の保全を図りながら、住民に良好かつ持続的なサービスを提供し、快適な暮らしを実現する。	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	最終目標値	100%
	最終実績値	100%
2	最終目標値	100%
	最終実績値	100%
3	最終目標値	100%
	最終実績値	100%
4	最終目標値	33%
	最終実績値	33%
5	最終目標値	100%
	最終実績値	100%